

平成28年度全国学力・学習状況調査 抽出結果の分析（小学校国語）

【良好であるもの】

1. 出題の趣旨「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりする」

- A¹一2「お年玉を貯金する」（正答率：98.7%）
 二1「アサガオのたねをまく」（正答率：91.8%）

2. 出題の趣旨「目的に応じて、図と表とを関係付けて読む」

- A⁵ 【南町公園案内図】と【パンフレットの一部】をよく読んで、【山田さんのグループの希望】に最も合う広場を、あとの1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。（正答率：93.3%）

○過去の出題における関連問題

年度	問題	県の正答率	全国の正答率
H19B ⁴ 一	広告の情報を読み取って、正しい内容を選択する	62.0%	62.8%

3. 出題の趣旨「用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める」

- A⁷ 池田さんは、書写の時間に（一）と（二）を書きました。それらを見直して（三）のように書き直しました。（三）は（一）、（二）と比べてそれぞれどのような点に注意して書いていますか。（正答率：81.5%）

【課題であるもの】

1. 出題の趣旨「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」

- B¹三 山下さんは、【インタビューの一部】の□□□□の中で、質問をしています。どのような質問をしたと考えられますか。次の条件に合わせて書きましょう。（正答率：26.1%）

○解答類型と反応率

	解答類型	反応率 (%)	正答
	条件① 「事前に準備したインタビューメモ」の内容を使って質問している 条件② 「◇店長」の発言を受けて書いている 条件③ 30字以上、50字以内で書いている		
1	条件②、③を満たしているもののうち、条件①について、「事前に準備したインタビューメモ」にある「地産地消についてどのように考えているか」という内容について書いているもの	23.2	◎
2	条件②、③を満たしているもののうち、条件①について、「事前に準備したインタビューメモ」にある「地産地消についてどのように考えているか」以外の内容のいずれかについて書いてある	2.9	◎
5	条件①について、「事前に準備したインタビューメモ」にある「地産地消についてどのように考えているか」という内容について書いているが、条件②は満たしていないもの	15.4	
7	条件②を満たしているが、条件①は満たしていないもの	11.3	
9	上記以外の解答	27.9	
0	無解答	7.5	

○分析

- 解答類型5の反応率が15.4%ある。条件2の「◇店長の発言を受けて書く」ことについて、例文を参考にせず、経験だけで答えていることが原因と考えられる。
- 解答類型9の反応率が27.9%ある。例文をまねて外国産の食料品についての質問を書いているものが多く、「例文のように書く」の条件を捉え違えていることが考えられる。
- インタビューを行う場合、相手の話に同意した上で質問したり、話題を変えて質問したりするなど質問の仕方を取り上げて指導する必要があると考えられる。

2. 出題の趣旨「目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書く」

- B²二（1）高野さんは、「2 課題」について、<図2>を用いて書こうとしています。□ B □の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。（正答率：30.1%）

○解答類型と反応率

解答類型		反応率 (%)	正答
条件① <図2>の結果から考えられることを書いている 条件② 書き出しの言葉に続けて、40字以上、60字以内で書いている			
1	条件①、②を満たしているもの (正答例) 次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時こくが二時間以上おそくなる人のわり合が減っていないことです。	30.1	◎
2	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	3.3	
9	上記以外の解答	60.3	
0	無解答	6.4	

○分析

<ul style="list-style-type: none"> ・解答類型9に反応率が60.3%ある。これは、<図2>の活動前(5月)と活動後(11月)のグラフを比較した上で課題を捉えるという問題の意図を理解できなかったことが考えられる。 ・活動の前後を比較して変化を捉えず、1つのグラフからいえる課題を取り上げて書いているものが多い見られた。これは、報告文の内容や構成を捉えることができず、グラフと関係付けて読むことができていないことが原因だと考えられる。 ・国語科の時間以外にも、図表やグラフのどういうところに着目するのか意識し、目的に応じて必要な情報を取り出して自分の考えを明確にする指導を継続的に行っていくことが必要である。

3. 出題の趣旨「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」

B3三 谷口さんは、パン職人の仕事について、【特に心に残ったこと】を中心に紹介したいと考えています。そこで、【資料2】を読み直ししながら、紹介したいことをメモにまとめています。次の【資料2をもとにしたメモの一部】の の中に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。(正答率: 31.0%)

○解答類型と反応率

解答類型		反応率 (%)	正答
条件① 谷口さんの「特に心に残ったこと」が伝わるように書いている 条件② 「資料2(パン職人の声)」から取り上げて書いている 条件③ 40字以上、60字以内で書いている			
1	条件①、②、③を満たしているもの (正答例) 焼き立てのパンが店にならび、お客様のうれしそうな声が聞こえた時は、パン職人をやっていてよかったと実感する。	31.0	◎
2	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	1.1	
3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの (例) お客様に「この前のパンまた食べたいわ。」と喜んでもらった時には、やりがいを感じることができる。	15.5	
4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの (例) 自分の思いどおりのパンが焼き上がった時はとてもうれしくて、パン作りの苦労がふき飛ぶ。	24.7	
9	上記以外の解答	17.5	
0	無解答	10.2	

○分析

<ul style="list-style-type: none"> ・解答類型4の反応率が24.7%ある。「パンを作る喜びには触れているがやりがいについては書かれていないもの」や「仕事に対する喜びは書いているが条件1を満たしていないもの」が多く見られた。3つの条件を意識して解答できていない。 ・解答類型3の反応率は15.5%である。谷口さんの【特に心に残ったこと】については書いているが、「資料2」の内容について触れていないものが多い見られた。目的や意図に応じて文章を書く場合、資料の活用の仕方が変わったり、引用、要約する部分も変化したりするということを実感できる継続的な指導が必要だと考えられる。

○過去の出題における類似問題

年度	問題	県の正答率	全国の正答率
H26B2二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	28.0%	26.9%

平成28年度全国学力・学習状況調査 抽出結果の分析（小学校算数）

【良好であるもの】

1. 出題の趣旨の概要 「除法における計算の確かめの方法を理解している」

A¹ (3) 48. 1 ÷ 1. 3の答えを37と求めました。この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。

□エ × □オ を計算して、□カ になるかどうかを確かめます。

上のエ、オ、カには、「48. 1」、「1. 3」、「37」のいずれかが入ります。エ、オ、カに入る数をそれぞれ書きましょう。 (正答率：90. 0%)

○過去の出題における関連問題

年度	問 題	県の正答率	全国の正答率
H27A ¹ (3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	78.3%	82.0%

2. 出題の趣旨の概要 「示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができる」

B¹ (1) よしさんは、1辺が8cmや9cmの正方形の場合でも、縦の長さを1cm短くし、横の長さを1cm長くすると、面積が1cm²小さくなるかどうか調べました。下のア、イ、ウに入る数を書きましょう。

(正答率：93. 8%)

<p>1辺が8cmのとき</p> $8 \times 8 = 64 \quad \text{正方形の面積 } 64 \text{ cm}^2$ <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> $7 \times 9 = 63 \quad \text{できた長方形の面積 } 63 \text{ cm}^2$	<p>1辺が9cmのとき</p> $9 \times 9 = 81 \quad \text{正方形の面積 } 81 \text{ cm}^2$ <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> $\square\text{ア} \times \square\text{イ} = \square\text{ウ} \quad \text{できた長方形の面積 } \square\text{ウ} \text{ cm}^2$
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題であるもの】

1. 出題の趣旨の概要 「式の中の数値の意味を解釈したり、式の意味の説明を記述したりできる」

B² (3) 40mハードル走の目標のタイムは、次の式で求めることにします。

40m走のタイム + 0. 4 (秒) × ハードルの数 = 目標のタイム

まなみさんは、目標のタイムを達成することができたので、目標のタイムを求める式を次のように作り直しました。

40m走のタイム + 0. 3 (秒) × ハードルの数 = 目標のタイム

式の中の0. 4や0. 3は、どのような時間を表している数だと考えられますか。言葉や数を使って書きましょう。 (正答率：21. 7%)

○解答類型と反応率

	解 答 類 型	反応率 (%)	正答
1	ハードル1台当たりに増える時間であることを書いているもの	21.7	◎
2	40mハードル走のときに増える分の時間をハードルの数で割った数であることを書いているもの	0	○
3	増える時間であることを解答しているもの	30.5	
4	走る距離を基にしているもの	1.3	
5	ハードルの数を基にしているもの	1.0	
6	目標のタイムであることを解答しているもの	3.3	
9	上記以外の解答	27.2	
0	無解答	15.0	

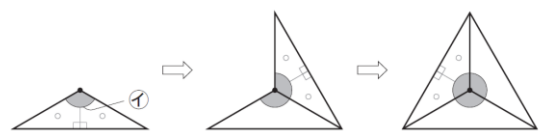
B⁵ (1) 右の図のように、30°、60°、90°の角をもつ三角定規を使って二等辺三角形をつくりました。



かなえ ①の角が1つの点のまわりに集まるように、二等辺三角形を並べていくと、3つで、正三角形ができました。

先生 どうして3つでぴったりつくることができるのでしょうか。

かなえ $360 \div 120 = 3$ で、商が3になり、わり切れるからです。



360 ÷ 120は、どのようなことを計算している式ですか。言葉と数を使って書きましょう。その際、「360」と「120」が何を表しているかわかるようにして書きましょう。 (正答率：3. 3%)

○解答類型と反応率

	解答類型	反応率 (%)	正答
1	①、②、③の全てを書いているもの	3.3	◎
2	①、③を書いているもの	0.7	
3	②、③を書いているもの	4.1	
4	③を書いているもの	1.0	
5	①、②を書いているもの	15.2	
6	①を書いているもの	8.2	
7	②を書いているもの	25.1	
8	被除数を除数で等分している式であることを記述しているもの	0.0	
9	上記以外の解答	24.5	
0	無解答	18.1	

(正答の条件) 次の①、②、③の全てを書いている。
 ① 360が、1回転した角の大きさを表していること
 ② 120が、①の角の大きさを表していること
 ③ 被除数は除数の幾つ分かを計算している式であること

○分析

B[2] (3)

- 解答類型3の反応率が30.5%である。式の中の+0.4、+0.3から「増える時間」と解答したと考えられる。
- (40m走のタイム) + (40mハードル走のときに増える分の時間) = (目標のタイム) という式の構造が捉えられていないことが考えられる。
- 式からそれに対応する具体的な場面を読む力が十分身に付いていないことが考えられる。

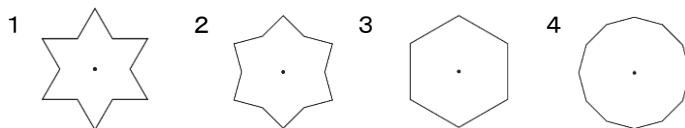
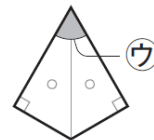
B[5] (1)

- 解答類型5の反応率が15.2%、解答類型7の反応率が25.1%である。式の数値の意味は捉えられているものの、除法が用いられる場合とその意味についての理解が十分でないことが考えられる。
- 式と図を関連付けながら説明したり、なぜその式になるのかなど、式の表す意味を考える学習を行うことが大切である。
- 自分の表現を見直し修正していく活動を取り入れていくことが大切である。

2. 出題の趣旨の概要 「図形を構成する角の大きさを基に、示された四角形を並べてできる形を判断することができる」 (正答率: 26.4%)

B[5] (2) 右の四角形を使って形をつくります。

㊦の角が1つの点のまわりに集まるように、右の四角形を並べていくと、6つで、ある形ができます。どのような形ができますか。下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



○解答類型と反応率

	解答類型	反応率 (%)	正答
1	1 と解答しているもの	8.3	
2	2 と解答しているもの	36.9	
3	3 と解答しているもの	26.4	◎
4	4 と解答しているもの	17.5	
0	無解答	10.3	

○分析

- 解答類型の2の反応率が36.9%である。㊦と向かい合う角の形にのみ着目し選んだものと考えられる。図形の構成要素である直角に着目し、直角を2つ組み合わせると180°になることが捉えられていない。
- 解答類型3を選ばなかったのは、正六角形を対角線で6つに分けて考え、図の中にもとになる図形を見出すことができず、当てはまらないと判断したものと考えられる。
- 具体物を使った操作や敷き詰めといった作業的・体験的な活動が不足していると考えられる。
- 図形を構成する具体的な活動は、児童にとって楽しいものであるが、児童が活動のねらいを持ち、目的に応じて活動し、明らかになったことをまとめたり確かめたりできるよう配慮することが大切である。